

CHIBA
UNIVERSITY

国際

教養

学部

2020



Make a Contribution to the World ここで育つのは、世界に自ら発信する「力」

既存の価値観にとらわれず自由に、主体的に。
広い世界と未来に役立つ、新たな価値を創造する。

世界の課題を日本独自の視点で解決する。
文系や理系、今までの学問分野を飛び越えて、
もっともっと広い世界を見ながら、わくわくするような未来を創る——
千葉大学は総合大学としての長い歴史を生かしながら、
世界が抱える課題を日本独自の視点で解決する学問の開拓に挑みます。
国際教養学部では、この日本独自の視点を新たな価値あるものとして
世界に発信し続けることのできるグローバル人材を育成します。
既存の価値観にとらわれず自由に、そして主体的に物事に取り組む「個」の力を育てることが、
世界に求められた使命であると千葉大学は考えます。

「国際」+「日本」+「科学」
文理混合による新たな学問の大海原への挑戦。

現代社会が直面する複雑な問題に対応するには、
俯瞰的な視野を持ち、さまざまな学問分野を横断しながら
幅広い知識やアイデアを駆使して解決していく必要があります。
文系と理系が一緒になった国際教養学部では、
「国際」+「日本」+「科学」をバランスよく混合（ブレンド）することで、
グローバルイシュー（世界が抱える課題）について、
日本の文化・技術を用いて独自の視点から解決する能力を身につけていきます。



CONTENTS

P3 学部長挨拶

P4 国際教養学部 教員一覧

P5 国際教養学部 概要

“知識を単なる知識にとどめず、実際に活用して課題を解決する”。このような実践的な力を身に付ける教育こそ新時代にふさわしい教育であると国際教養学部は考えます。

P7 カリキュラム

国際教養学部では、世界を舞台にした文理混合の課題解決型教育を実践します。入学後、教員の指導とSULAのサポートを受けながら、主体的な履修を通じて、課題の発見・分析・解決の能力および発信力を体系的に獲得していきます。

P9 留学について

P10 学習環境

P11 入学者選抜方法等について

P14 在学生からの声



Greeting

学部長挨拶

国際教養学部には、みなさんに新しい学びのあり方を提案したいというところざしがあります。それは、地球規模で日々生起する解決すべき課題（グローバルイシュー）を発見し、その解決の道筋を模索し、解決方法を実践的に提案していく、という課題解決型の学びです。環境や資源の問題、紛争や難民の問題、文化や宗教の摩擦、これら複雑な問題の解決を目指すには、すでに定まった学問分野から出発するのではなく、課題解決に必要な学問分野の成果を貪欲に吸収していくことが必要です。課題に応じて、解決に向けて必要な学問の組み合わせは異なるものとなります。国際教養学部が文理混合の幅広い学びを理念として掲げているのは、そのためです。みなさんは、まず、人文社会科学、自然科学、生命科学のすべての分野の基礎を学んでいきます。

また、みなさんの学びは、これまでの学問の成果をただ知識として手に入れることにとどまるものではありません。その知識を世界各地の現場でどう応用するのか、社会にたいする貢献にどう生かしていくのか、実践的で主体的な学びが必要です。国際教養学部では、「世界で学ぶ、世界を学ぶ」、「現場で学ぶ、現場を学ぶ」の二つを基本理念として、アクティブラーニングの新しい姿を示していきます。

この文章を、みなさんは世界や日本のどの地域で読んでいるでしょうか。みなさんは、これまでの人生で体験してきたことから言えば、それぞれの関心や希望も異なります。そうしたみなさんの多様性を生かすことができるよう、またみなさんひとりひとりが異なる学びを実践することができるよう、教職員が協力して徹底した少人数教育を実現します。ぜひ身近な教員、SULAや職員に声をかけて、みなさんの疑問をぶつけてみてください。

国際教養学部は2016年（平成28年）に創設された千葉大学で最も新しい学部です。歴史はありませんが、未来があります。みなさんの力と教職員の力を合わせて、これから新しい価値や文化を創造していくことができるよう、心から期待しています。



国際教養学部長 小澤 弘明

Faculty

国際教養学部 教員一覧

国際教養学部 教員一覧(五十音順)

氏名	職名	分野
五十嵐 洋己	助教	国際社会学、教育社会学
泉 利明	教授	フランス文学
上原 浩一	教授	植物系統分類学、生態遺伝学
小澤 弘明	教授(学部長)	歴史学
ガイタニティス ヤニス	助教	日本学、宗教社会学、医療人類学
金田 章宏	教授	日本語学
神里 達博	教授	科学技術社会論、リスク論、科学史
串田 正人	教授	ナノ・マイクロ科学、電気電子工学
見城 悌治	准教授	日本史(思想文化)、東アジア交流史
小泉 佳右	准教授	運動生理学、健康科学
高 民定	准教授	社会言語学、韓国語教育
小林 聡子	助教	教育学、言語人類学、質的研究方法論
崎山 直樹	講師	歴史学
佐々木 綾子	講師	社会学、国際社会福祉、福祉政策
佐藤 尚子	准教授	言語学、日本語教育、日本語学
周 飛帆	准教授	社会学、移民研究
白川 優治	准教授	教育社会学、教育行財政学、高等教育論
鈴木 雅之	准教授	建築学、地域研究
高垣 美智子	教授	熱帯農学
高橋 信良	准教授	フランス語学、舞台芸術論
高橋 秀夫	教授	英語教育、CALL
高光 佳絵	准教授	国際政治史、アメリカ外交史、政治学
田中 緑	助教	イメージング科学
谷藤 千香	准教授	スポーツ経営学、スポーツ政策学
徳永 留美	助教	人間情報学、視覚情報処理、色彩工学
永瀬 彩子	准教授	都市環境デザイン学
西尾 悠子	講師	ドイツ文学
西住 奏子	講師	言語学、日本語教育
パシュキヤピチャウス アルギルダス	講師	デザイン学
ピオンティーノ ユリアン	助教	日本史、韓国史、日韓関係史
福田 友子	准教授	国際社会学、移民研究
藤田 幸雄	教授	スポーツ生理学
ハウダ マーチン	教授	日本語学、対照言語学、一般言語学
前田 早苗	教授	高等教育論
三野 弘文	准教授	物理学
村岡 英裕	教授	社会言語学
森川 セーラ	准教授	英語教育
山口 智志	准教授	健康・スポーツ科学、整形外科学
吉岡 伸彦	教授	スポーツバイオメカニクス
吉田 修二	准教授	堆積学、自然環境、防災
吉野 文	准教授	応用言語学、日本語教育
与那覇 信恵	准教授	英語教育、CALL
和田 健	准教授	民俗学、地域研究、文化人類学
渡邊 誠	教授	デザイン学
渡辺 正巳	教授	応用分子細胞生物学、植物生化学

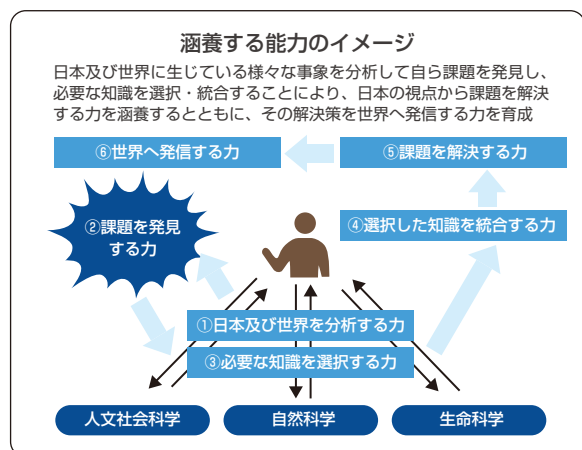
Outline

国際教養学部概要

国際教養学科[1学部1学科] 定員/1学年90名 専任教員/45名

国際教養学部の養成する人材像

私たちの社会が持続的に発展するためには、環境問題や人間の安全保障など既存の学問分野単独では解決困難な課題と向き合っていかなければなりません。また、わが国の経済が停滞する中、世界最先端の科学技術や独自の文化を有するわが国の魅力が広く世界に認知されることは、ビジネスチャンスの増大等をもたらす、日本の経済発展、ひいては世界の発展に貢献するものであり、これを実現する人材が求められています。このような社会的要請に応えるため、国際教養学部は、「グローバル・日本・ローカル」という複合的視点から国際理解と日本理解の双方を備えた上で、俯瞰的視野、多元的な視点で物事を考え、日本独自の視点から課題を発見・解決し、その解決策を世界へ発信することができるグローバル人材の養成を目指しています。

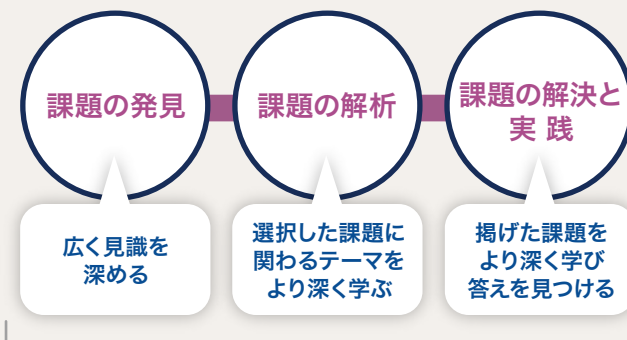


特色1 文理混合による課題解決型教育

従来の国際教養教育は人文社会科学が主流でしたが、現代社会の複雑な課題の解決には自然科学や生命科学の視点が欠かせません。そこで千葉大学の国際教養学部では、文理混合教育を実践します。これは、総合大学である千葉大学だからこそその強みと言えます。また、課題解決型教育として、従来からの発想を転換し、最初から決められた学問分野を出発点とするのではなく、課題認識からスタートし、その解決のための知識を選択・統合し、解決能力を育む教育を実践します。

特色2 テーラーメイド教育とSULAによる学修支援

国際教養学部では、学問分野の境界を越えた知識や手法で国際社会に生起する課題の解決を目指します。学生はひとりひとりが設定した課題に応じて、その解決に必要な科目をジャンルを問わず履修します。どのような科目を履修するか、課題解決に必要な活動体験や海外留学をいつどのように行うか、教員やSULA(Super University Learning Administrator)と呼ばれるスタッフが相談にのりながら、学生個々のニーズに合わせて「テーラーメイド教育」を行います。



教員の指導とSULAのアドバイスを受けながら
学生ひとりひとりが異なる学びを実践

特色3 アクティブラーニング

千葉大学では、アカデミック・リンク・センターやイングリッシュ・ハウスなど、学生が主体的に学べる場所が用意されています。また、双方向型授業設備を積極的に導入するとともに、大学院生による学習支援制度も運用されており、大学全体として学生の主体的な学びをサポートする環境が整っています。これらを基盤として、国際教養学部においてはアクティブラーニングを積極的に展開していきます。



特色4 ソーシャルラーニング

フィールドワーク、インターンシップ、ボランティアなど、国際教養学部はグローバルな世界と地域の双方を舞台にした活動体験を重視し、「現場で学ぶ・現場を学ぶ」を学修理念の中心に据えています。このような学修を通して、理論だけでなく実体験を通じた知識の活用と課題解決能力を育成します。また、これらの活動体験は、事前学習・事後学習を通じて体系的な科目として構成され、体験によって得た学びを個々のものとしてとどめるのではなく、普遍的な課題として考えることのできる能力を育てていきます。

特色5 海外留学

異文化との接触、国際的な学生間の協働を通じた国際理解と日本理解の育成を目的に、国際教養学部では卒業までに最低1回の留学を行うことを必須にしています(留学の時期や回数は課題解決の道筋に合わせて学生自ら決定)。千葉大学は、留学にも柔軟に対応可能な新たな学事暦として、ターム制(1年を6タームに分割)を2016年度から導入しました。このターム制を活用し、難易度・目的・期間別に体系的に整理された多様な留学プログラムを提供します。



Curriculum

カリキュラム

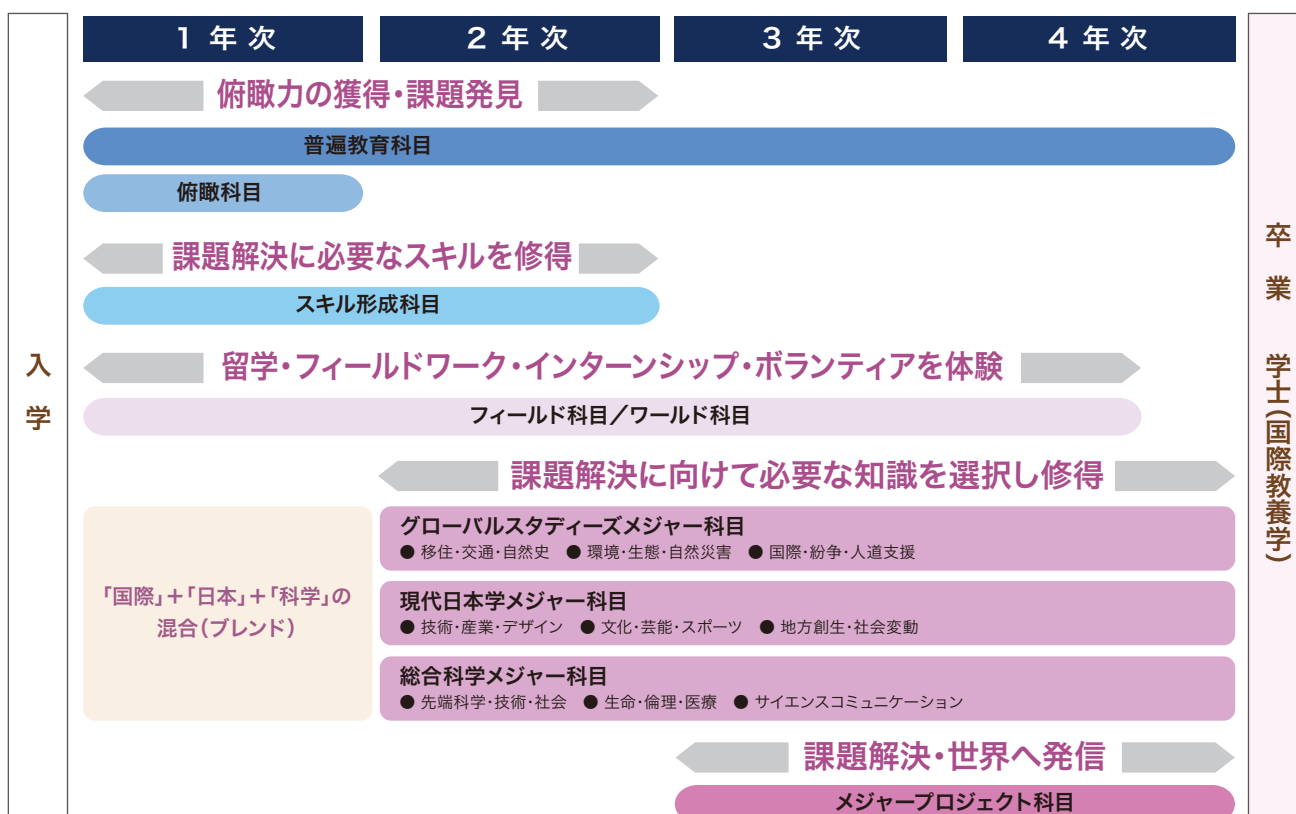
国際教養学部では、世界を舞台にした文理混合の課題解決型教育を実践します。入学後、教員の指導とSULAのサポートを受けながら、以下の科目群の主体的な履修を通じて、課題の発見・分析・解決の能力および発信力を体系的に獲得していきます。



※コース・ナンバリング・システム(2015年度導入)によるナンバリングコードで、授業科目の難易度の目安を示す。

普遍教育科目	全学の共通教育科目であり、学問の基礎について広く学んでいきます。
俯瞰科目 全科目必修	人文社会科学・自然科学・生命科学の学問領域を混合し、分野を越えた俯瞰力を身に付けます。 国際教養学入門/人文社会科学基礎/自然科学基礎/生命科学基礎/グローバルイシュー論/現代日本論/総合科学論/グローバルイシュー演習/現代日本課題演習/総合科学コミュニケーション演習
スキル形成科目	専門的な語学や研究手法など、課題解決能力や発信力の基礎となるスキルを修得します。 国際教養CALL英語/アカデミックライティング(日)/アカデミックライティング(英)/研究方法論/史資料分析/質的調査法/量的調査法/最新情報処理演習/プレゼンテーションメソッド/学術英語
フィールド科目	「現場で学ぶ、現場を学ぶ」をコンセプトとして、国内外における現場体験を通じ、課題発見・解決能力を身に付けます。 フィールド・スタディ/地域PBL型実習/持続的地域貢献活動実習
ワールド科目	「世界で学ぶ、世界を学ぶ」をコンセプトとして、海外協定校等とのプログラムを通じ、課題発見・解決能力を身に付けます。 海外派遣プログラム
グローバルスタディーズメジャー科目	グローバルな問題の背景と構造を理解し、その解決に必要な知識を修得します。 [移住/交通/自然史] 世界史と世界地理/民族と国民/移民論/近代世界システム論 等 [環境/生態/自然災害] 都市住環境論/地域環境論/生物多様性論/防災・減災社会構築論 等 [国際/紛争/人道支援] 国際組織論/国際関係と歴史認識/国際協力論/安全保障論 等
現代日本学メジャー科目	日本の技術、文化、社会の課題を理解し、それをもとにグローバルな課題の分析につなげる知識を修得します。 [技術/産業/デザイン] 工業デザイン/製造業とサービス/コンテンツ産業とデザイン/メディアミックス 等 [文化/芸能/スポーツ] クールジャパン論/ポピュラーカルチャー論/日本の言語文化/地域社会とスポーツ振興 等 [地方創生/社会変動] 地方創生論/千葉学/比較社会学/人口減の社会論 等
総合科学メジャー科目	諸科学の基礎を理解し、その中から解決すべき課題への新たなアプローチ方法の発見を目指します。 [先端科学/技術/社会] 経済政策と科学技術/映像表現技術/境界科学論/科学と社会的意思決定 等 [生命/倫理/医療] 生命倫理/バイオテクノロジーと法/医療と文化/スポーツ医科学 等 [サイエンスコミュニケーション] サイエンスコミュニケーション論/サイエンスカフェ/ミュージアム論/大衆の科学理解 等
メジャープロジェクト科目	課題解決に向け、グループワーク・ディスカッションを重ねながら自らのプロジェクトを選択し、複数教員の指導のもと、卒業制作、卒業研究、卒業論文という形でプロジェクトを完成させます。 クロス・メジャー・プロジェクトワーク/メジャープロジェクト

入学から卒業までの履修の流れ



教育課程における留意点

- 卒業までに124単位を修得します。合わせて、1回以上の海外留学が必須です。
- 3年次で1つのメジャーを選択しますが、選択したメジャー以外の科目も横断的に履修します。
- 授業科目のナンバリング・早期卒業制度・履修登録上限制度(CAP制)があります。
- 6ターム制(1年を6つの期間に分ける)により授業を実施します。
- 教育職員免許の取得はできません。
- 科目等については、今後変更することがあります。

卒業後の進路 ～さまざまな場所で活躍できる人材づくり～

国際教養学部の目的はグローバル人材の育成にあります。卒業後の進路は海外だけを念頭に置いているわけではありません。地域の中にもグローバルな課題はありますし、この学部で身に付く、課題を発見し解決していく能力は、どんな場所でも活かすことができるでしょう。具体的には、企業や自治体の国際部門、企画部門などが考えられます。また、工学デザインの演習も行うので、デザイン・シンキングを身につけ、IT系のデザイナー、エンターテインメントやアートのプロデューサーとしての活躍も期待できます。新設学部なので大学院はありませんが、学部でつけたテーマに沿った大学院に進んで専門性を深めれば、国際公務員やNGOの職員への道も開けるでしょう。

Study Abroad

留学について

国際教養学部では2016年度の設置以来、卒業までに1回以上の海外留学を必須としています。学生自身で留学の目的を立て、準備や計画をしていきます。その目的に応じられるように、本学部の学生が利用できる多くの留学プログラムを用意しています。

主な留学の形態と渡航先

語学研修・文化体験	協定校での授業やワークショップ、現地の自然や文化施設などの見学を通して文化学習および外国語でのコミュニケーション能力の向上、などを目的とした留学です。海外経験が少ない人のためのプログラムもあります。	アメリカ、カナダ、フランス、タイ、インドネシア、中国、韓国、台湾、オーストラリア
協働学習	外国語を媒介言語として、協定校等の学生と特定の課題の解決や発見に取り組むPBL (Project Based Learning) 型の留学です。	アメリカ、メキシコ、フィンランド、ギリシャ、ドイツ、タイ
社会体験	環境保護や貧困地域での子供支援などのボランティア、企業でのインターンシップを組み合わせたプログラム、など社会体験を通してPBL型で学ぶ留学です。	マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、モンゴル、スリランカ、モザンビーク、ウガンダなど
研究	専門性をより高めるための留学です。短期間から長期間（1年）のものまであります。海外交流協定校との交換留学プログラムでは、単位互換が可能なものもあります。	アメリカ、カナダ、メキシコ、イギリス、フィンランド、スウェーデン、ギリシャ、タイ、インド、オーストラリアなど

入学後の留学通算回数

	1年生	2年生	3年生
1回	43名	53名	54名
2回	1名	15名	24名
3回以上	0名	8名	5名

● 2019年3月末時点

中長期間の主な留学先大学

アメリカ	シンシナティ大学、ニュースクール、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校	オーストラリア	モナシュ大学、オーストラリア国立大学、ロイヤルメルボルン工科大学
カナダ	レジャイナ大学、プリンスエドワードアイランド大学、アルバータ大学	フィンランド	東フィンランド大学、ラップランド大学、タンペレ大学、セイナヨキ大学
メキシコ	パンアメリカン大学、モンテレイ大学	スウェーデン	リンショープン大学
中国	浙江大学	フランス	パリ東大学
タイ	マヒドン大学、カセサート大学、チェンマイ大学	イギリス	ノーザンブリア大学、ヨークセントジョン大学
マレーシア	ブトラマレーシア大学	ギリシャ	アリストテレス大学
インド	インド情報技術大学ジャバルプール校	チェコ	オストラヴァ大学

- 派遣留学制度（協定校との交換留学プログラム）による受け入れ先のみを記載しています。
- この他に、学内で準備された各種留学プログラム（グローバル・スタディ・プログラム、グローバルインターンシップなど）があります。

海外協定校

千葉大学ではいち早く海外留学の整備に取り組んでおり、日本人学生の海外派遣数は国立大学では2011～2014年度と2016年度の5期で1位を獲得した実績を有しています。現在242の海外の大学と大学間交流協定を結んでおり（2019年6月現在）、多くの学生はこの協定校に留学しています。



Learning Environment

学習環境

千葉市稲毛区にある千葉大学西千葉キャンパス。広大なキャンパスの中にはケヤキやクスノキが多く配されており、学生たちは緑豊かな環境で、のびのびとしたキャンパスライフを送っています。西千葉キャンパスには、イングリッシュ・ハウスやアカデミック・リンク・センター(附属図書館)など、学生の主体的な学びを支える環境が整っています。



撮影:坂下智広



撮影:坂下智広

国際教養学部棟

2017年に国際教養学部棟が完成し、学部生は新しい校舎で授業を受けています。学部の特徴であるテーラーメイド教育やアクティブラーニングの実践を支えるため、ゼミ形式の授業や自主学習が可能なオープンスペース、授業資料等の電子ファイル共有を円滑に進めるための全館無線LAN配備、SULAの相談スペース、壁全面のホワイトボード、学部関連の図書閲覧スペース(LAS BOOKS)、メジャーごとに色分けされたフロアなど、機能面でもデザイン面でも工夫を凝らした造りになっています。



アカデミック・リンク・センター

「考える学生」の創造を目的とする「アカデミック・リンク」という新たなコンセプトのもと、当センターでは静かな学習環境だけでなく、グループワークやプレゼンテーションのできる空間、紙や電子による教材やコンテンツ、そして学生の学びへの人的サポートを提供しています。



イングリッシュ・ハウス

気軽に楽しみながら英語が学べる場所として、国籍や学部を越えた多くの学生が集まっています。ランチチャットや様々なイベントを通じて英語によるコミュニケーションを楽しめたり、ネイティブの教員による個別レッスンや、TOEFL等の英語検定試験対策授業などが行われています。



Admission

2020年度(令和2年度)入学者選抜方法等について

国際教養学部の入試の特色として、一般入試(前期日程)では【通常型入試】と【特色型入試】の2つのパターンの試験があり、どちらか好きなパターンで受験することができ、文系志向の学生と理系志向の学生の双方が受験することが可能となっています。また、特別選抜試験としてAO入試を実施しています。

● 千葉大学国際教養学部 入学者受入れの方針

千葉大学国際教養学部が求める入学者

国際教養学部では、「つねに、より高きものをめざして」という千葉大学の基本理念に基づき、既存の学問分野単独では対応が困難な地球規模で生起する複雑な問題群の解決に寄与すべく、グローバル社会・現代日本・地域という複合的視点から国際理解と日本理解の双方を備えた上で、俯瞰的視野、多元的な視点でものごとを考え、日本独自の視点から課題を発見・解決し、当該解決策を世界に発信することができる人材の育成を目的としています。このような人材を育成するために、次のような入学者を求めています。

- ① 現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、さらに向上させていこうとする熱意を持つ人
- ② 本学部での修学について強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探究し、問題解決の能力を主体的に高めていこうとする意欲を持つ人
- ③ 文系と理系の別や人文社会科学、自然科学、生命科学の学問分野の垣根を越え、修学に必要な基礎学力として十分な知識・技能を持つ人
- ④ 英語力をはじめ、言語について優れた運用能力を持つ人

入学までに身に付けて欲しいこと

幅広い好奇心と探求心を持ち、世界と日本で起きている出来事に関心を持つとともに、興味を持ったことを自ら調べ、考える姿勢を育ててください。そして、様々な領域の読書等を通じて、世界には多様なものの見方、考え方があることに触れてください。さらに、学校・地域・社会のなかで様々な活動に参加し、周囲の人たちとコミュニケーションをとることを通じて、人と関わることの楽しさと難しさを経験してください。

将来、国際的に活躍するための基礎力として、国語(日本語)と英語(外国語)の語学力はもとより、理系・文系を問わず、各教科の基礎学力をしっかりと身に付けてください。

● 入学定員・募集人員

学部名称	国際教養学部	募集人員	一般入試(前期日程)	通常型入試:75名(個別学力検査<筆記試験>を実施します)
学科名称	国際教養学科		一般入試(後期日程)	特色型入試:10名(小論文及び英語による面接を実施します)
入学定員	90名		AO入試	5名(課題論述及び面接を実施します)

※通常型入試と特色型入試の同時出願はできません。出願時にどちらかの試験を選択することになります。

● <一般入試(前期日程)>

入学者選抜日程等

	募集要項公表	出願期間	2段階選抜の実施等	選抜期日	合格発表	入学手続
通常型入試	2019年10月下旬	2020年 1月27日(月)~2月5日(水)	実施しない	2020年2月25日(火)	2020年3月9日(月)	2020年 3月14日(土)~15日(日)
特色型入試			実施する※ 【第1段階選抜実施発表日】 2020年2月12日(水)	2020年2月26日(水)		

※ 国際教養学部国際教養学科特色型入試については、志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、2段階選抜(指定する大学入試センター試験の教科・科目の成績(素点)の総得点により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行う)を実施することがあります。<予告倍率: 4倍>

入試に関する情報は、千葉大学HP及び千葉大学国際教養学部HP等で公開しています。

▶▶▶ 【千葉大学入試情報HP】 <http://www.chiba-u.jp/exam/>
 【千葉大学国際教養学部HP】 <http://www.las.chiba-u.jp/>

次年度以降の入試の変更等については、千葉大学HPに掲載されている最新の情報を確認してください。

● <一般入試(前期日程)>

大学入試センター試験の指定教科・科目

パターン	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語
①	「国語」	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	「倫理、政治・経済」	「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅱ・数学B」	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	—	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」
	1	2		1	1		2	1
②	「国語」	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	「倫理、政治・経済」	「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅱ・数学B」	—	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」
	1	2		1	1		1※	1
③	「国語」	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	「倫理、政治・経済」	「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅱ・数学B」	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」
	1	1※		1	1	2	1	1
④	「国語」	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	「倫理、政治・経済」	「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅱ・数学B」	—	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」
	1	1※		1	1		2	1

[注] ・ 指定教科・科目を受験するパターンは、①～④のいずれでも可能です。

・ パターン③の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができます。

※ 地理歴史及び公民並びに理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください(第1解答科目の成績を合否判定に利用します)。

個別学力検査等の出題教科・科目等

選抜方式	出題科目・教科等	出題範囲等
通常型入試	国語(国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B)	どちらかの教科を選択します。
	理科 [<物理基礎・物理><化学基礎・化学><生物基礎・生物><地学基礎・地学>] から1つ選択	
	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B)	どちらかの教科を選択します。
	地理歴史 [<世界史B><日本史B>] から1つ選択	
外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ)	「外国語検定試験の成績の利用」の項を合わせてご参照ください。	
特色型入試	小論文	読解力、考察力、表現力などを総合的に評価します。
	面接(英語)	英語によるコミュニケーション能力、思考力を評価します。

大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

	大学入試センター試験							個別学力検査等							合計	
	国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	計	国語または理科	数学または地理歴史	外国語	小論文	面接	計		
通常型入試	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	300	300	300	—	—	900	1,350
特色型入試	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	—	—	—	400	500	900	1,350

● 大学入試センター試験における理科①の科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)については、2科目を受験しますが、2科目の合計点(100点満点)を理科1科目分の素点とします。

● ※印は、『地理歴史・公民から1科目、理科から2科目』、又は『地理歴史・公民から2科目、理科から1科目』の選択において、2科目として受験した教科に対してのみ適用される配点です。

● 大学入試センター試験の外国語の英語については、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を他の外国語と同じ200点満点に換算(筆記試験160点満点、リスニング40点満点)し、素点とします。また、大学入試センター試験においてリスニングが免除された者は、筆記試験(200点満点)の得点を素点とします。

● <一般入試(前期日程)>

外国語検定試験の成績の利用

概要

「**通常型入試**」での受験希望者については、実用英語技能検定、GTEC等の外国語検定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得していれば、**個別学力検査の「外国語」の得点に所定の点数を加点することができます。**

- 点数の加点は満点を上限とします(例:外国語で290点を取得、外国語検定試験により20点を加点した場合、満点の300点として扱います)。
- 個別学力検査の「外国語」の得点を**満点に換算した場合、個別学力検査の「外国語」の受験を免除**します(所定の点数を加点する場合には「外国語」の受験が必要です)。
- 利用できる外国語検定試験は**2017年1月1日以降に受験した試験**を対象とし、利用できる外国語検定試験の得点換算は1つのみとなります。

換算表

「外国語」の得点換算	Cambridge English	実用英語技能検定(英検)	GTEC ^{*1}	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W ^{*2}
満点換算	160以上	2300以上	1190以上	6.5以上	309以上	600以上	80以上	1560以上
20点加点	153以上	2180以上	1120以上	5.0以上	280以上	540以上	62以上	1420以上
10点加点	140以上	1950以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上

*1 GTECは4技能のオフィシャルスコアのみ有効とします。

*2 「TOEIC L&R」及び「TOEIC S&W」両検定試験の受験及びスコアを必須とします。また、スコアは「TOEIC S&W」のスコアを2.5倍にして合算したものとします。

選抜方法等の詳細については、必ず「令和2年度入学者選抜要項」及び「令和2年度一般入試学生募集要項」で確認してください。

● <AO入試>

入学者選抜日程等

出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
2019年9月17日(火)～20日(金)	2019年10月26日(土)～27日(日)	合格内定者:2019年11月22日(金) 最終合格者:2020年2月12日(水)	2020年2月19日(水)

入学者選抜方法等

選抜科目	選抜期日等	選抜方法等
課題論述	2019年10月26日(土) 13:00～16:30	文理混合による課題解決に向けた資質と適性を評価するため、資料の理解力、論理構成力、科学・統計リテラシーを問う課題を課します。なお、資料の一部に英文資料を含みます。 ※英和辞典のみ持ち込み可とします(PC、電子辞書、スマートフォン等の電子機器の持ち込みは禁止とします)。
集団面接及び個別面接	2019年10月27日(日) 9:00～	集団面接及び個別面接をそれぞれ実施します。なお、個別面接においては、提出された「自己推薦書」及び「学びの履歴書」(今まで行ってきた「学び」の活動に関する報告)に関する質問を含みます。
大学入試センター試験	2020年1月18日(土)・1月19日(日)	≪一般入試(前期日程)≫と同様の指定教科・科目を受験してください。 最終合格基準・総合点が70%に達していること。

課題論述、集団面接及び個別面接の合計点による合格者を「合格内定者」とし、「合格内定者」のうち、大学入試センター試験の合否判定の基準に達している者を「最終合格者」とします。

選抜方法等の詳細については、必ず「令和2年度国際教養学部AO入試学生募集要項」で確認してください。

Students' Voice

在学生からの声



3年
杉原 愛海

留学について

私は派遣留学で約半年間タイにあるカセサート大学へ留学しました。もともと食糧問題等に興味があったことから、農業の重要性を感じ、農業普及や東南アジアの農業の現状について主に学んできました。また、課外活動として、写真部やスラムでのボランティア活動にも参加しました。

幸運なことに出会いにも恵まれ、多くの友人たちと共に過ごす中で文化や宗教の違いなど、大学の授業だけでは気づけなかった、様々なことに気づかされました。同時に日本の良さや、またタイから見習いたい部分など、さらに自分自身についても同様に考え直させられました。

留学中、農学の知識がほとんどない私は、劣等感を感じたり、自分の思い通りにいかず目的を見失いかけてたりすることもありましたが、留学前に自分が実現したかったことを思い返し、やり方を変えてみたり行動に移したりしたことで、結果的に目的以上のものを得られたと思います。

派遣留学は自分のやりたいことを自分次第で大きく実現できるものだと思います。留学の目的は人それぞれですが、行動していく中で何度もその目的に立ち返り、必要に応じて修正し、また行動に移すというサイクルが必要だと感じました。



4年
二上 瑛

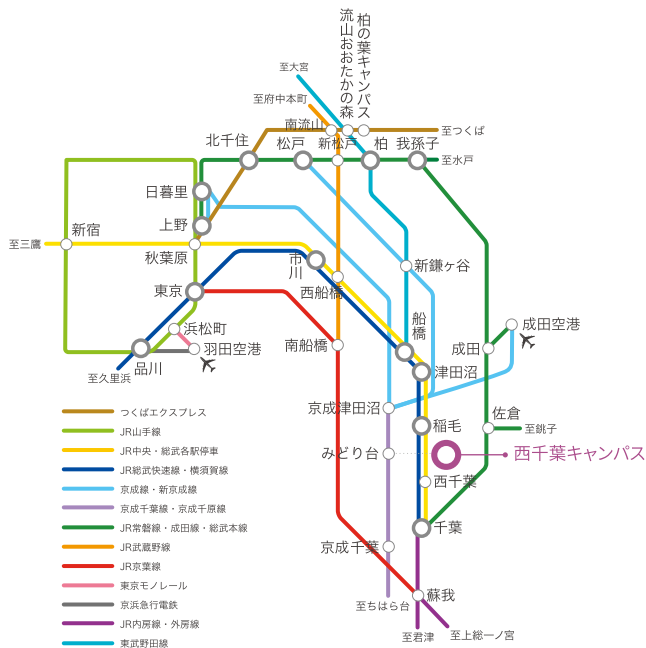
学生生活について

国際教養学部では、幅広く学び、自分の思いを実現することができます。

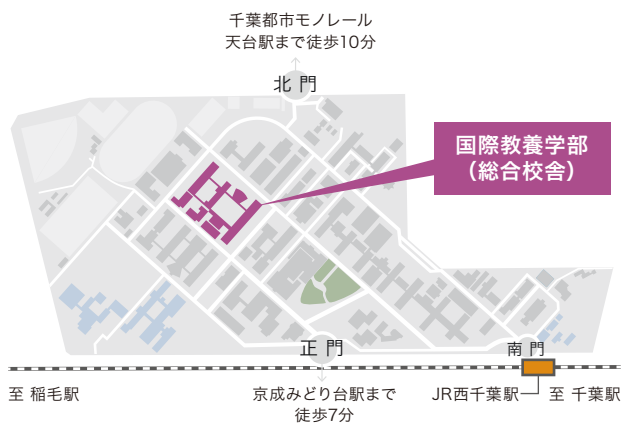
国際教養学部は特定の専攻を設定していないため、学生が学びたいことを自由に選択することができます。このため同じ学部在籍しながら、自分の興味とは全く異なる専門を学んでいる学生も見られます。このことで好奇心が刺激され、高校時代よりも学ぶことが楽しいと感じています。

学業面以外では、友人とともに「LAS BOOKS」という国際教養学部独自の図書スペースを運営しています。新しい本と出会うことによって興味を広げる手助けをしたい、という思いからつくったこの図書スペースには、通常の図書館とは異なる特長を3点設けています。1点目は、自分の持っている本を自由に本棚に追加し、他の学生と共有できることです。2点目は、本をジャンル別ではなくあえて背表紙の色調順に並べることで、これまで自分が読まなかったジャンルの本と出会う工夫をしていることです。そして3点目は、自分の感想や見解を書いたふせんをページに残すことで、学生間の意見交換を可能にしていることです。国際教養学部では、このような学生独自の取り組みが他にも数多く運営されています。入学した際にはぜひみなさんも自分のアイデアを形にしてみてください。





- ・ JR品川駅・東京駅から - JR総武線(快速)利用の場合:「稲毛」駅で総武線(普通)に乗換え「西千葉」駅下車、徒歩約2分(キャンパス南門)
- ・ JR秋葉原駅から - JR総武線(普通)利用の場合:「西千葉」駅下車、徒歩約2分(キャンパス南門)
- ・ 京成線上野駅から - 京成本線利用の場合:「京成津田沼」駅で京成千葉線に乗換え「みどり台」駅下車、徒歩約7分(キャンパス正門)



国立大学法人 千葉大学

国際教養学部

E-mail: 総務担当 las-soumu@chiba-u.jp
学務担当 las-gakumu@chiba-u.jp

<http://www.las.chiba-u.jp/>
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33